

生活・サービス

インターネット経由で販売される偽造医薬品への対策が急務となっている。ファイザー日本法人(東京・渋谷)など勃起する製薬4社の調べでは、ネット経由で販売されるED薬の4割が偽造品だった。影響は購入者の健康被害にとどまらず、製薬会社の経済損失や医薬品のネット販売など多岐に渡る。

年102億ユーロ(約1兆2千億円)の経済損失と、およそ37万人の雇用機会を損失。

EU知財庁監査部は2016年9月、偽造医薬品が与える影響を試算した調査を発表した。損失額は欧州製薬市場のおよそ4%にあたる。

偽造薬、ネットで氾濫

ED治療薬の4割偽モノ

国境を越えて医薬品がイトの摘発数は、昨年度の販売サイトで取得した流通するEUと比べ、日までに計2千件に及ぶ。計70サンプルのうち、40本は健康保険の存在や流税関での摘発数も、15年通網の信頼性の高さに10年前の100倍となら、こうした偽造医薬品は約1千件まで膨らんだ。問題は優先課題にはなっていない。

ED治療薬はその筆頭だ。取り扱う製薬4社の14年度から始めた不正調査では、国内及びタイ策を急ぐ。国内ではファイザー



「ファイザーの正規品「バイアグラ」⑥と偽造品はシールの違いなどで見分けられる

偽造防止の主な取り組み

企業名	具体策
武田	違法販売サイトの削除を要請。プロドバイダーやカード会社と組み、15年強だけで千サイトを閉鎖
エーザイ	インドでリンパ系フィラリア症薬のボトルにシリアル番号付与。錠剤表面にも割線
ファイザー	ED治療薬「バイアグラ」の箱に特殊加工したシールを貼る

健康被害や経済損失 対策急ぐ

「薬価のある日本では転嫁できない」と、医薬品の販売を、改めて考えたい。(山)

家庭教師を割安紹介

テックバディ



1回だけでも気軽に家庭教師を頼める

大手の3分の1 運動や楽器演奏も伝授

ITベンチャーのテックバディ(大阪市、西祐弥社長)は15日から、家庭教師を割安に紹介するサービスを開始する。料金は登録した家庭教師が決めるが、1時間あたり1500円から2000円程度が中心。初期費用もかからず「毎月のコストは大手の家庭教師紹介サービスの3分の1程度に抑えられる」という。

小学生から高校生向けの家庭教師紹介サイトの「おんきょレスキュー」を本格的に始める。長期の担任制ではなく、必要な時に来てもうら単発の授業を気軽に頼める。教師も勤務日時や価格を自由に設定できる。学生や主婦が、空き時間に勉強を教えたいとの需要は高い。すでに京都大学の学生約30人が登録し、今後他大学にも広がる。

受講者は授業を受ける前に気になった教師と直接メッセージでやりとりできる。従来の家庭教師紹介サイトは会社を通じて手配してもらうことが多かった。

家庭教師について写真や自己PRなどを写真を用いて紹介するほか、今後は六角形のグラフィックを用いて、「指導力」「コミュニケーション力」など教師の特性をわかりやすく示す機能も加える。実際に受講した人のレビューも出

すことで受講する人の判断材料にもなる。価格は通常、入会費や年会費で5万円以上かかることがあるが、同サービスは初期費用が無料。月に4回頼めば教材費や管理費はかからず、月約8千円と従来の家庭教師サービスの3分の1程度になる。テックバディは受講者と家庭教師双方が

武田薬品工業は12日、米バイオベンチャーのマイベリック・セラピューティックス(カリフォルニア州)と、がん治療の基盤技術に関する独占的な提携契約を結んだと発表した。武田は契約一時金と同社への出資、研究開発費に加え、5年間の提携後に同社を買収でき

ら10%の手数料を受け取るが、当初は受講者の手数料を無料とする。教材はパディンハウス(北海道江別市)などと連携し、幼児・中学生までの教材「ちびむすドリル」などを使う。テックバディは出版やホームページの製作事業を手掛けるベンチャーで、西社長が2014年

に設立。成長市場のシェアリングサービスへの参入を模索していた。西社長自身が「子供の教育で、家庭教師サービスの高額さや情報の不透明さを不便に感じていたことが、サービスを始めるきっかけになった」という。4月以降には家庭教師に登録した学生が持つスポーツや語学、楽器演奏などの特技も、オンラインで教えることになる。具体には、サッカーやダンス、楽器演奏などを想定して、テックバディを紹介を皮切りに一人ひとりが幅広くシェアリングの育成を目指す。武田はマイベリックの攻撃力や、がん細胞を認識する力を向上させる技術を持つ。正常な細胞を攻撃せず、がん細胞を高精度で認識する可能性がある。この副作用による副作用の期待がある。

鳥インフル対策のネット

くればあ、抗菌剤練り込む

フィルター製品を手掛けるくればあ(愛知県豊橋市、中河原毅社長)は、特殊な抗菌剤などを練り込んだ高病原性鳥インフルエンザウイルス対策のネットを開発し、13日から国内で販売を始める。ネットに特殊な抗菌剤などを練り込み、感染源となるネズミからのウイルスを不活性化させる効果が見込まれ、養鶏場などにネズミが侵入するのを防ぐ。世界的に流行している鳥インフルエンザ対策製品として売り込む。

開発した「ネズサル」は金網を、エタノール系の抗菌剤やトウガラシなどの辛み成分「カプサイシン」、ハーブを練り込んだビニールで被膜したもの。抗菌成分は、同社がエボラウイルス対策用に販売しているマスクでも使われている。ウイルスの周囲にある膜状の構造を破り、死滅させる効果があるという。中河原社長は「第三者機関を通じて

試験では、99%以上の不活性化の効果が認められた」と話す。ネズミがネットをかじることもあるが、カプサイシンやハーブを嫌がり近寄らなくなる。養鶏場や動物園などの入り口や集卵装置「パーコンベヤ」の下部、排水溝といったネズミが侵入しやすい場所に設置してもらおう。5年程度は効果が続くという。

鳥インフルエンザが発生した鶏舎などからはネズミの侵入が確認され、渡り鳥の排泄物を介してウイルスを持ち込んだとみられている。昨年10月から感染が広がっている。

韓国では、ネズサルを先行販売している。価格は91センチ幅の30センチで、1本9万9800円(送料込み)。愛知県豊橋市と浜松市の工場では、月6000箱分を製造する態勢を整えた。鳥インフルエンザは現在、国内でも大流行しており、警戒レベルは最も高い「3」。昨秋以降、北海道や新潟、熊本などの養鶏場では飼育する鶏が殺処分されている。同社は1989年の設立。エボラウイルスや微小粒子状物質「PM2.5」対策のマスク、浸水を防ぐシートなどを販売している。

武田、米社と独占的提携

がん治療基盤技術 5年間で142億円

東京ディズニースーパースター15周年イベント

東京ディズニースーパースター15周年イベント(DDR、千葉県浦安市)で12日、冬季限定イベントが事前公開された。写真。

細胞を攻撃するT細胞の攻撃能力や、がん細胞を認識する力を向上させる技術を持つ。正常な細胞を攻撃せず、がん細胞を高精度で認識する可能性がある。この副作用による副作用の期待がある。



きょう最終章スタート

3月17日まで開催

東京ディズニースーパースター15周年記念イベントの最終章となる「クリスタル・アイス・ショー」が、3月17日から、3月17日まで、TDSでは昨年春業15周年記念イベントとして開催している。シャボン舞う中でダンサーら

USJ、限定イベント開幕

6アトラクション投入

ユニバーサル・クルージュパン2011人気マンガ「ル・スタジオ」の開幕式が開かれた。イベントは13日から6月25日までの約5カ月間開催する。USJ初登場の集客増につな